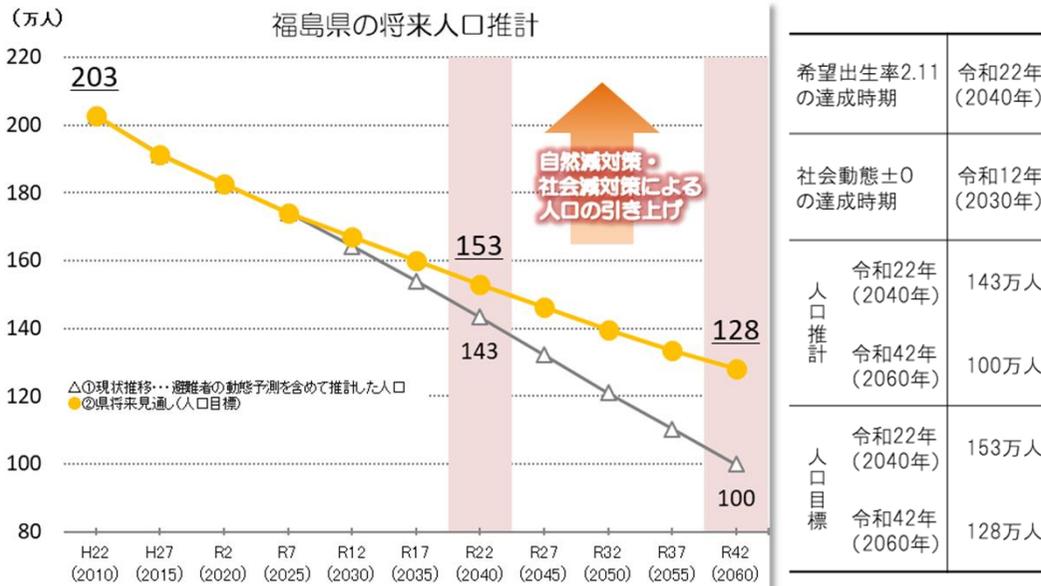


福島県人口ビジョン(H27策定、R元更新)

- 何も対策を講じなかった場合、2040年(令和22年)に143万人、2060年(令和42年)には100万人まで減少すると推測
- 目標とする出生率と社会動態を前提条件として人口目標(2040年に福島県総人口150万人程度の維持)を定め、目標の実現に向けて、自然減対策、社会減対策を両面で進めていく



令和22(2040)年に福島県総人口“150万人程度の維持”を目指す!

◇人口ビジョンの更新について

本県の人口動向等の再分析を行い、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」等も踏まえ、令和6年内の更新を目標に作業を進める。

ふくしま創生総合戦略(R2~R6)

基本理念

「福島ならではの」地方創生の推進

「震災・原発事故からの復興」と「急激な人口減少の克服」という課題を先取りした本県として、真摯に課題解決を進めることで、国内外の社会的発展にも貢献

基本的な視点

- ① 「ふくしまプライド。」を追求するための、県民一人ひとりの想いを大切にし、挑戦を支える社会の実現
- ② それぞれの強みを発揮し、相互に連携・共創する社会の実現
- ③ 「ふくしまの地」で挑戦する姿を見て、自分も挑戦したくなる、人が人を呼び込む“あこがれの連鎖”を生む社会の実現

基本目標

人口ビジョンに掲げる目標の実現に向けて、4つの基本目標ごとに、基本施策として整理し、積極的に人口減少対策を推進していく。

一人ひとりが輝く社会をつくる
(ひと)

暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる
(暮らし)

魅力的で安定した仕事をつくる
(しごと)

新たな人の流れをつくる
(人の流れ)

◇次期戦略の策定について

国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を鑑み、デジタルの力を活用した地方創生を進めるため「福島県デジタル変革(DX)推進基本方針」を踏まえるとともに、現総合戦略のこれまでの取組評価や令和6年度に実施する人口減少の現状と実態を明らかにするためのアンケート調査も加味しながら、令和6年度内の策定を目標に、令和7~11年度を計画期間とした戦略の策定作業を進める。